

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境			0.40		-			3.2
1 音環境		4.0	0.15	3.3	1.00			3.3
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		5.0	0.50	3.6	0.50			
1 開口部遮音性能	外壁の開口部のサッシはT-2の性能のサッシを使用する。	5.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能			-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20			
1.3 吸音			-		-			
2 温熱環境		2.6	0.35	3.0	1.00			2.9
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00			
3 ゾーン別制御性			-		-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		3.0	0.25	4.0	1.00			3.8
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.50			
1 昼光率	住居部(Aタイプ): 4.45% 共用部: 3.19%	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口			-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50			
1 昼光制御	住居部: カーテン及び庇等にて制御	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00			3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能			-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理			-		-			
1 CO ₂ の監視			-		-			
2 喫煙の制御			-		-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.0
1 機能性		2.8	0.40	3.0	1.00			2.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性			-		-			
2 高度情報通信設備対応			-	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-		-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		2.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30		-			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能劣化等級3を取得予定	5.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.6	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		1.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	階高は2.91m以上		-	3.2	0.50	
	2	空間の形状・自由さ			-	4.0	0.60	
3.2	荷重のゆとり				-	2.0	0.40	
3.3	設備の更新性			3.0	1.00	3.0	0.50	
Q3 室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出		-	0.30	-	-	2.1
	2	まちなみ・景観への配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
	3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.9
1	建物外皮の熱負荷抑制	住宅性能温熱等級3を取得予定		3.0	0.20		-	3.0
2	自然エネルギー利用			2.0	0.10		-	2.0
3	設備システムの高効率化	BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.84		5.0	0.50		-	5.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)				-		-	
	集合住宅の評価(3c)	LED照明機器、潜熱回収型給湯器を使用		5.0	1.00		-	
4	効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価				-		-	
	4.1 モニタリング				-		-	
	4.2 運用管理体制				-		-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護				3.0	0.20		-	3.0
1.1	節水			3.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-		-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60		-	2.6
2.1	材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20		-	3.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2	フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
	1	消火剤		-	-		-	
	2	発泡剤(断熱材等)	断熱材施工の発泡剤はODP=0、GWP=1の材料を使用する。	5.0	0.50		-	
	3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率=70%	4.2	0.33		-	4.2
2 地域環境への配慮				2.9	0.33		-	2.9
2.1	大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
	1	騒音		3.0	1.00		-	
	2	振動		-	-		-	
	3	悪臭		-	-		-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2	砂塵の抑制			-		-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3	光害の抑制			3.0	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
	2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	